プログラミング演習 2 (第 13 回) 課題

2023年 12月 22日

注意事項

ソースファイルの先頭には必ず「学籍番号」「氏名」「<mark>課題番号</mark>」を下記の例のようにコメントとして入れること。mainメソッドのあるクラス内に他のメソッドを作らないこと。

```
// 学籍番号:77H000, 氏名:産大太郎, 課題番号:課題1
class Kadai13_1
{
    public static void main(String[] args){
        ...
```

課題1. (Kadai13_1.java) [出題目的:クラスの復習](10点) 宿題不可

以下のような手順で実行例のように実行するプログラムを作成せよ。

- Student クラスを用意し、学籍番号と名前を収納する、外部からアクセス可能な String 型のフィールド number と name を作成する。
- ② Student クラスに、number に"00H000"name に"No name"を代入する、外部からアクセス可能な、 引数なしのコンストラクタを用意する。
- ③ Score クラスを用意し、数学と英語の点数を収納するための、外部からアクセス可能な integer 型のフィールド math と english を作成する。
- ④ Score クラスに、math と english に 0 を代入する、外部からアクセス可能な、引数なしのコンストラクタを用意する。
- ⑤ main 内で、Student クラスの変数 person を用意する。
- ⑥ main 内で、Score クラスの変数 data を用意する。
- ⑦ person および data のそれぞれのオブジェクトの内容を、各フィールドに直接アクセスして実行例のように表示する。

[実行例] (青字は変数を表示した結果である。その他は文字列リテラルによる表示である)

```
学籍番号:00H000, 名前: No name
数学:0, 英語:0
```

課題 2. (Kadai13_2.java) 〔出題目的:継承、メンバへのアクセス〕(10点) <mark>宿題不可</mark>

課題1で作成したプログラムを修正する形で、以下の手順のプログラムを作成せよ。 main は新たに作成すること。

- ① Score クラスを、Student クラスをスーパークラスに持つ、サブクラスに変更する。
- ② main 内で、サブクラスの変数 member を用意する。
- ③ member のそれぞれのオブジェクトの内容を各フィールドに直接アクセスして実行例のように表示する。
- ④ main 内で、member の各フィールドに直接アクセスして、実行例のように学籍番号、名前、点数を代 入する。
- ⑤ member のそれぞれのオブジェクトの内容を各フィールドに直接アクセスして実行例のように表示する。

[**実行例**] (青**字は変数を表示した結果である**。その他は文字列リテラルによる表示である)

```
学籍番号:00H000, 名前: No name, 数学:0, 英語:0
学籍番号:22H777, 名前:Taro, 数学:70, 英語:80
```

課題2で作成したクラスを以下の①~⑤ように追記・修正し、さらに⑥、⑦を加え、課題2の 2 行目の実行例と同じように表示するプログラムを作成せよ。main は新たに作成すること。

- ① スーパークラスのフィールドおよび引数無しのコンストラクタを、サブクラスだけから直接アクセスできるように変更する。
- ② スーパークラスに、クラス内のすべてのフィールドを希望の値(文字列を含む)に初期化するための外部からアクセス可能なコンストラクタを用意する。
- ③ サブクラスのフィールドおよび引数無しのコンストラクタを、外部から直接アクセスできないように変更する。
- ④ サブクラスに、スーパークラスのフィールドを含めたすべてのフィールドを希望の値(文字列を含む)に初期化する、外部からアクセス可能なコンストラクタを用意する。その際 引数は、学籍番号、名前、数学の点数、英語の点数の順とする。スーパークラスのフィールドの初期化にはスーパークラスのコンストラクタを利用すること。
- ⑤ サブクラスの toString() の戻り値を、課題2の実行例のような文字列にするよう、オーバーライドする。(青文字部分は各フィールドの内容が反映されるようにすること)。
- ⑥ main 内で、サブクラスの変数 member を用意する。その際、コンストラクタを利用して、学籍番号、 名前、数学の点数、英語の点数 を member の各フィールドに代入する。
- ⑦ member のオブジェクトの内容を toString() の戻り値を利用して表示する。

課題 4. (Kadai13_4,java) 〔出題目的:継承、メンバへのアクセス〕(10点) 宿題可

課題3で作成したクラスに①を追記し、さらに②~④を加えたプログラムを作成せよ。main は新たに作成すること。

- ① スーパークラスの toString() の戻り値を、以下の実行例の2行目のような文字列 にするよう、オーバーライドする(青文字部分は各フィールドの内容が反映されるようにすること)。
- ② main 内で、スーパークラスの要素数 3 の配列変数 members を用意する。
- ③ 実行例を参考に、3 人分の学籍番号、名前、数学の点数、英語の点数を、コンストラクタを利用して membersの各要素に代入する。(Taro と Hanako は Score クラス、Ichiro は Student クラスのオブジェクト である。)
- ④ for ループを 1 つだけ用いて、members のすべての要素の内容を実行例のように表示する。その際、toString()を利用すること。繰り返し回数は、配列の長さを読み取って設定すること。

[実行例] (青字は変数を表示した結果である。その他は文字列リテラルによる表示である)

学籍番号:22H777, 名前:Taro, 数学:70, 英語:80

学籍番号:22H778, 名前:Ichiro

学籍番号:22H779, 名前:Hanako, 数学:90, 英語:50

- □ 演習時間内に出来なかったプログラムのソースファイル(java)は、下記の期限までに WebClass で提出すること。
- □ 提出されたプログラムは**すべてチェック**します。動作しないプログラムが提出されている場合、提出物をすべて無効とします。ファイル名が間違っている場合は未提出と判断します。

提出期限: 次回授業前日(1月 11日)18:40 まで

提出場所: WebClass: 金4後 プログラミング演習2 H 松本 恵治1 2023

13-2 課題(宿題) Kadai13 3-4

注意: 13-2 課題(宿題) Kadai13 3-4 には、課題チェックシート(提出物)にチェック(合格) されたファイルを再度提出してはならない。提出している場合、課題としてチェックされたものが取り消しとなす。

● ソースファイルの先頭には必ず「学籍番号」「氏名」「**課題番号**」を下記の例のように コメントとして入れること。

```
/* 学籍番号:77H777, 氏名:産大太郎, 課題番号:課題 3 */
class Kadai13_3
{
    public static void main(String[] args){
```

- □ 期限に遅れた場合は、**評価外**とする。ただし、病気等の理由がある際には診断書あるいは 領収書等を持参の上、担当教員に了解を得ること。
- □ **復習テスト**が再公開されているので、まだ完了していない学生は完了まで実施すること。
- □ Lesson12 の Sample 1 (Sample12_01.java) から Sample 4 (Sample12_04.java) までのソースファイル(.java) 4 個を提出すること。

提出期限: 次回授業前日(1月 11日)18:40 まで

提出場所: WebClass: 金4後 プログラミング演習2 H 松本 恵治1 2023

14-1 予習 Sample12_01-04

● ソースファイルの先頭には必ず「学籍番号」「氏名」「Sample 番号」を下記の例のようにコメントとして入れること。

```
// 学籍番号:77H777, 氏名:産大太郎, Sample 番号:1 class Sample12_01 {
```

□ 次回はLesson12の説明、課題を行うので、内容を熟読しておくこと。